

サービス介助士とは

高齢な方や障害のある方へおもてなしの心をもって接し、正しい介助技術で対応できる者として、公益財団法人日本ケアフィット共育機構が認定する資格です。

日本が超高齢化社会に突入している中、多くの企業から注目を集めている資格で、導入した企業は約1000社、資格取得者数は21万人を超えています(2024年1月現在)



◇取得のメリット

- ① 高齢な方や障害のある方の困りごとに気付き、自分事として捉えられるようになります。
- ② 対話を通して必要なお手伝いができるようになります。
例) 車いすをご利用の方に段差を越えるお手伝いをする
視覚に障害のある方に手引き誘導をしてご案内をする
- ③ 「サービス介助士取得者がいる会社」として、お客さまにさらなる信頼・安心感を提供できます。

◇主な導入企業

・東日本旅客鉄道(株) ・東急電鉄(株) ・近畿日本鉄道(株) ・東京都交通局 ・(株)日本航空
・イオン(株) ・みずほ銀行 ・トヨタ自動車(株) ・本田技研工業(株) ・全日本空輸(株)
他、全国約1,000社で導入されています。

コースの概要

開催日 : ご希望がございましたらお知らせください。

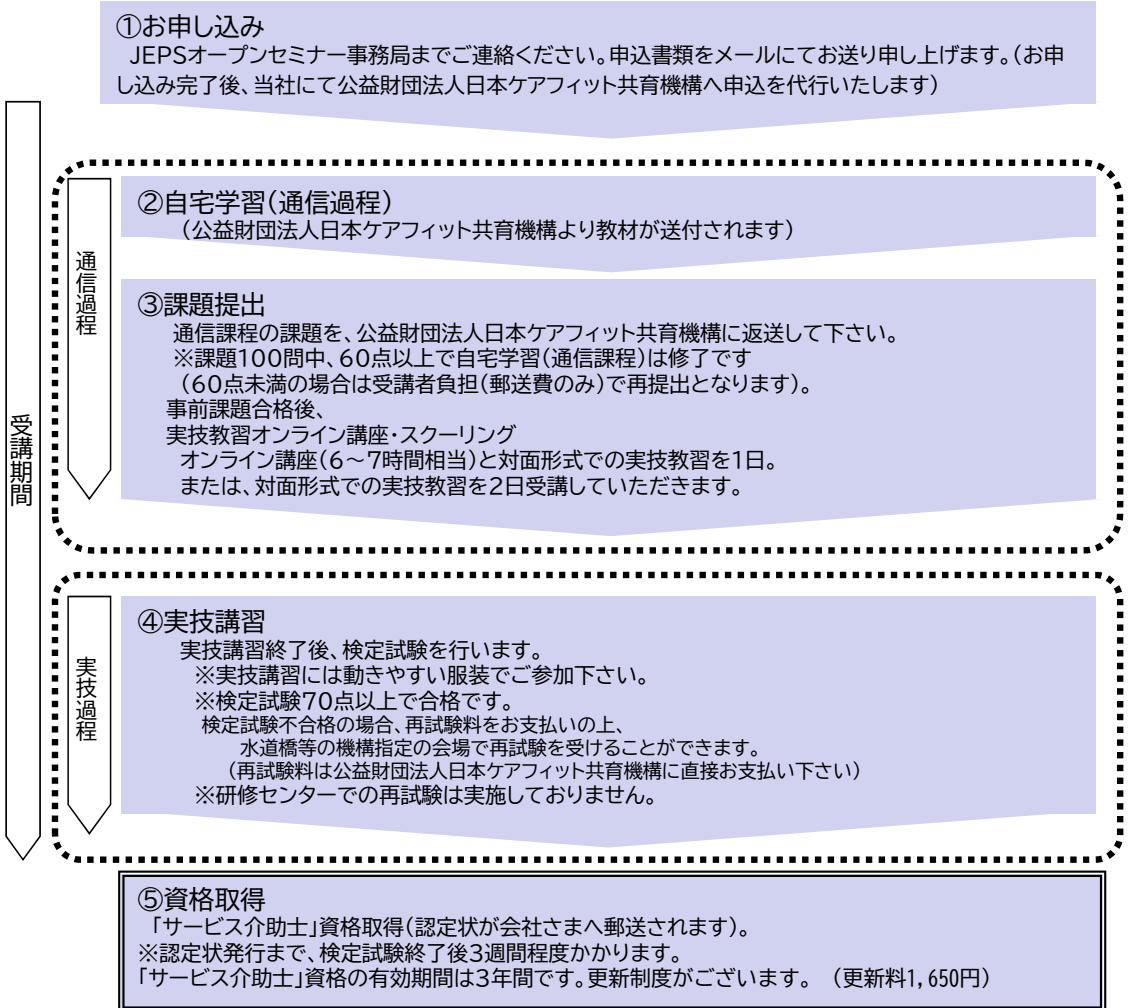
会場 : 各地(公益財団法人日本ケアフィット共育機構主催会場)

受講料(税込) : [JEPS会員価格]41,800円/人

◇受講料に含まれるもの

- ・通信課程
通信教材一式、通信教材送付費(ただし、通信課題の提出にかかる郵送費は含まれません)
- ・実技課程
実技講習費、検定試験費
検定試験不合格の場合の再受験費用(再試験料3,300円)は、受講者のご負担となります

お申し込みから資格取得までの流れ



<主な注意事項(2024年2月1日現在)>

- ★受講資格
サービス介助士資格取得講座の受講資格に制限はありません(どなたでも受講できます)
- ★キャンセル
受講申込書ご提出(正式申込)後のキャンセルは、原則としてお受けできません。恐れ入りますがお間違いのないようご協力をお願い申し上げます。しかしながらやむを得ない場合には、「受講者変更」という方法で下記対応をいたします。
①教材到着日から8日以内 → 無償にて変更受付可能です
※テキスト・提出課題等教材は変更した受講者間での譲渡にてご対応くださいませ。
②教材到着日から9日目以降から実技教習受講前まで → 14,300円にて変更受付可能です
※テキスト・提出課題等、新しい教材をお送りいたします。
- ★資格の更新
サービス介助士資格を更新する際には、更新手数料を公益財団法人日本ケアフィット共育機構にお支払い下さい。
- ★その他
受講者の変更等、諸手数料が発生する場合があります。この場合はその都度ご案内します。